

社会福祉法人 どんぐりの家
令和元年度 事業報告

(1) 通所介護事業所

年間延べ利用者数、10,697 名。

事業対象者、要支援者及び、「おこしやす」からの移動を含め、ご利用して頂く方が増えた中で、職員が手を出し過ぎる事無く、ご利用者が出来る事はして頂ける様に支援しました。

「気持ち」を持った介護サービスを提供出来る様に、先ず、言葉遣いを見直すことで、ご利用者一人ひとりの尊厳を大切にする職員の育成に努めました。しかし、まだまだコミュニケーション能力の低さを感じる場面もあり、更に意識して改善すべき課題であると認識しました。

(2) 認知症対応型通所介護事業所 どんぐりの家 絆

年間延べ利用者数、3,012 名。

年度当初は、施設入所される方が多く、ご利用者の少ない日が続きましたが、その後は、お陰様で昨年度よりも多くの方にご利用して頂くことが出来ました。その要因としては、他事業所の休止に伴う移動や、現在利用されている方の担当ケアマネジャーから、新規の方を紹介して頂けた事が大きかったです。

沢山の方にご利用して頂いたが故、一人ひとりに向き合う事が出来ないという事が無い様に、絆開設当初の思いに立ち返る一年でもありました。

(3) 訪問介護事業所

平成 13 年 7 月に訪問介護事業所を開所しました。開所のきっかけは、デイサービスだけでは支えきれないお一人暮らしの方を、ボランティアとして訪問して支援していましたが、限界を感じて、その方お一人の為に開所しました。

その後、次第にケアマネジャーさんからのご紹介で、ご利用者が増えてきました。どんぐりの家ならではのボランティア方針と交えながら、家庭的なきめ細やかな事業を行ってきました。

この度、残念ながら職員の確保に努めましたが叶わず、閉所という事になってしまいました。

(4) 居宅介護支援事業所

年間延べ給付管理件数、1,233 件。

1 年を通じ、主に各地域包括支援センターから、多数の新規ご利用者を紹介いただいたことで、給付管理件数が前年度を上回りました。

ご利用者の在宅生活支援の中で、隣近所や自治会と情報共有し、屋外を頻繁に歩かれるご利用者の安全確保に努めたケースが複数ありました。

綾部市の生活サポート会議に年 3 回、地域包括支援センター主催の事例検討会に年 4 回出席し、様々な事例を勉強しました。又、里福祉をすすめる会様のわいわい集会で、介護保険制度の各サービス内容や利用方法について説明をさせて頂きました。

(5) おこしやす

年間延べ利用者数、「すこやかシニア教室」4,447 名。一般利用 69 名。

年間を通じ、午前中は「綾部市すこやかシニア教室」として運動、口腔、栄養をテーマに取り組み、午後は体や頭を使ったゲーム、カラオケ、書道等を行いました。

新しい取り組みとして、「音楽に合わせた体操」、「二つの事を同時に行う運動」を取り入れ、健康な体の維持を目指しました。

ご利用者にとって、週 1 回のおこしやすが「生きがい」と言って頂ける様に、人と人との触れ合いや繋がりを感じられる取り組みを意識しました。

土・日曜日は、里福祉をすすめる会様のわいわい集会をはじめ、各グループに使用して頂きました。

(6) 配食サービス

おひとり暮らしや高齢者世帯を対象に、年間 3,973 食配達しました。

課題であった、配達員を増員する事が出来ました。それにより、配達エリアが拡大しました。また、定期的に既存利用者を通じて、新規の利用希望者を紹介して頂きました。